

参考資料 - 1 受理 No 順の研究テーマ一覧

通し No	分野	受理 No	将来の課題と予測される研究テーマ
1	E	1	レーザー光による可聴音の直接検出 (光マイクロホン)
2	A	2	意味解析
3	B	2	ターゲット音信号抽出
4	C	2	人工聴覚 (外耳、内耳、代替感覚)
5	E	2	地殻内、地球内探査
6	E	2	音響空間 (周波数スペクトル以外のベクトルはあるか?)
7	F	2	超音波リニアモータ・アクチュエータ (人工筋肉応用)
8	A	3	知覚パラメータと非知覚パラメータを有効に利用した話者分析
9	C	3	人の注意に関する研究,特に聴覚,視覚,そして運動の関係
10	E	3	並列,分散処理アルゴリズムの導入による,音響システムの高性能化
11	E	3	線形ひずみ,非線形ひずみを考慮した評価システムの構築:秘話音声の品質評価
12	E	3	歪みの知覚レベルの探査
13	E	3	コピキタスネットワークにおける高速信号処理モデル
14	E	4	音像定位、ヘッドホン・イヤホンを使用した頭外音像定位技術、視覚と聴覚のマルチモダリティ、音像定位知覚実験法
15	A	5	音声の時間周波数解析による感情解析
16	A	5	音声合成における感情表現の技術
17	A	5	音声による人物特定
18	A	5	動物の音声におけるコミュニケーション技術,動物との音声によるコミュニケーション技術
19	A	5	人間の脳における音声分析機構の解明
20	A	5	人間の脳における音声認識機構の解明
21	A	5	フラクタルやカオスを用いた音声圧縮
22	B	5	受け手の状態 (感情,好悪)による騒音影響
23	B	5	人間の体感音量の変化に関する研究
24	C	5	聞こえると言うことは脳で何が起きているのか
25	C	5	心内発声と脳活動,脳の活動と意識の上での聴えると言うこととの関連
26	D	5	(音楽楽器)心地よい音とは何か
27	E	5	独立成分分析における音響信号の解析とその応用
28	F	5	生体の音響特性 (超音波など)
29	F	5	原子炉における非破壊検査
30	A	6	術前音声記録から作成される人工合成音声作成技術の開発 (術後発声障害患者への応用)
31	B	6	歯科治療時に発生する不快音 (切削音、吸引音)に対する患者の心理的生理的影響
32	C	6	顎顔面骨移動術が音声の音響学的特性に及ぼす影響
33	C	6	顔面表情あるいは表情筋活動からの音声解読システムの開発 (気管切開患者や発声障害患者への応用)
34	C	6	義歯装着患者にみられる咬合時の乾性雑音についての研究
35	D	6	音楽鑑賞時間の増加による自律神経への影響 (血液、尿、唾液中のコルチゾン濃度の変化を指標とした研究)
36	D	6	歯科治療時に発生する不快音に対する環境音楽の心理的影響
37	A	7	自由な韻律の制御
38	A	7	対話音声や感情音声など朗読音声以外の合成
39	A	7	韻律情報処理
40	A	7	言語モデルの高度化 (タスク適応、話し言葉用のモデル、韻律の利用)
41	A	7	音源と声道特性の関連の解明
42	A	7	概念音声合成

43	D	7	歌声の分析、合成
44	A	8	感情の込められた音声の合成
45	A	8	音声からの話者の感情の識別
46	A	8	混合音声を成分音声に分離する技術
47	A	8	低い信号雑音比での音声認識技術
48	A	8	fMRI,MEG,などを用いての人の音声認識機構の解明
49	D	8	音楽演奏信号が聴き手に与える感情の推定法
50	F	8	(超音波素子)CCD なみの高解像度センサの開発
51	D	9	計算流体力学を用いた楽器の発音機構のモデル化と解明 ,およびシミュレーション
52	B	10	機械加工の精度と騒音のレベル
53	B	10	騒音による動物への影響
54	C	10	人間の脳と音に対する快感・不快感のかかわり
55	C	10	動物の発生音と他個体への伝達
56	E	10	低周波音の評価
57	F	10	超音波と動物
58	A	11	カクテルパーティ効果の工学的実現 (独立成分分析またはブラインド分離法) 音声分離 (多人数の会話の中から)
59	A	11	ベクトル量子化による圧縮技術
60	B	11	独立成分分析によるノイズ除去
61	E	11	(音響評価)機械の故障診断
62	E	11	音響による検査方式の自動化
63	G	11	補聴器の高機能化 = カクテルパーティ効果の工学的実現 (独立成分分析またはブラインド分離法)
64	B	12	騒音対策の心理的効果の把握 (植樹帯等)
65	B	12	複合騒音の評価
66	B	12	騒音調査データの国際比較
67	B	12	我国の騒音調査のデータアーカイブの設立
68	F	13	環境保全、金属ナノ粒子合成への応用
69	F	13	超音波キャピテーションを化学反応に利用した技術
70	C	14	難聴遺伝子の解明
71	C	14	音響障害のメカニズム
72	C	14	虚血性内耳障害のメカニズム
73	C	14	人工内耳関連 ハードの開発のための研究 言葉の理解に対する脳の可塑性の研究
74	F	15	(超音波動力)パワーアシスト
75	F	15	(超音波動力)歩行支援
76	F	15	球面超音波モータ
77	B	16	大音量聴取による聴覚劣化の詳細データ採取
78	C	16	人同士の対話現象と阻害要因の定量化
79	E	16	音響システムの伝達特性の情報理論的評価
80	E	16	音響システムにおけるデジタル系、アナログ系の最適分担
81	E	16	(音響計測)環境の影響を受けにくいシステム計測法
82	F	16	可聴周波数外の強力音の人体への影響
83	A	17	音声認識のロボットへの応用
84	B	17	車両の発生する騒音低減の研究
85	B	17	電子機器の空冷用ファンの騒音低減
86	C	17	耳鳴りの研究
87	C	17	人工声帯の開発
88	D	17	自然楽器に近い音を発生可能な電子楽器の開発

89	E	17	健常者の音声知覚能力に近い認識能力を有する人工内耳の開発
90	F	17	超音波を利用した自動操縦自動車用超遠距離環境認識センサの開発
91	F	18	AE法による Thermal Barrier Coating における基板と膜とのはく離現象の in-situ 観察
92	F	18	AE法を使った固体の反応 (特に反応による格子のレシエ破壊) の追跡
93	A	19	情報技術と連携して従来の音声認識を格段に向上させる技術 例えば タグ活用型音声認識 センサネットワークと音声認識 バイオメトリクスのための音声処理
94	B	19	騒音源の探査技術
95	B	19	騒音を用いた信頼性や残存余命の評価技術
96	B	19	分散型騒音センサ
97	C	19	聴覚の生理モデルと計算論
98	E	19	食感 (聴覚によるもの)
99	B	20	感性を考慮した低音化技術
100	B	20	音源同定
101	B	20	機械音響を利用した診断技術・モニタリング
102	F	20	超音波モータの開発
103	F	20	音響浮揚・搬送
104	F	20	超音波洗浄に関する新技術
105	A	21	会議評価のための会話分析
106	A	21	マン・ロボットコミュニケーションの円滑化
107	B	21	快適寝室ユニットのデザイン
108	B	21	騒音軽減のためのアクティブウィンドウ
109	C	21	加齢によるコミュニケーション障害の改善
110	C	21	脳直結型人工聴覚
111	C	21	植物に対する音刺激の効果
112	D	21	アニメ効果音が生体に及ぼす影響
113	D	21	不快にならない着信音
114	D	21	身体楽器の開発
115	D	21	高齢者のための楽器演奏教授法の開発
116	E	21	ホームサウンドルームの設計
117	E	21	適正アンウンス量の検討
118	E	21	都市らしい・リゾートらしさの音設計
119	E	21	電気自動車の音設計
120	F	21	超音波の生体反応
121	F	21	害虫駆除バリアーの開発
122	G	21	祭り 民芸、仕事の音、動物の鳴き声、自然音など、地球上の音のデータベースの作成。日本の世界貢献になるのでは?
123	A	22	音声を正確に識別する技術
124	E	22	音響を用いた地中埋設物の腐食診断
125	F	22	種々の構造物の非破壊試験法の確立
126	A	23	音声再生技術
127	B	23	心理に害する環境音
128	C	23	両耳聴
129	D	23	絶対音感の習得と喪失
130	D	24	着メロ 駅メロ等音楽の利用に関する研究
131	G	24	サイン音に関する研究
132	G	24	音のデザインに関する研究 (ドア音等)
133	G	24	マルチメディアにおける音の役割に関する研究
134	C	25	乳幼児の言語発達における大脳レベルの機構解明

135	D	25	音楽の心理療法への応用
136	F	25	超音波を利用した補聴システム
137	G	25	新しい補聴システムの開発
138	F	26	(超音波素子)アレイトランスデューサの利用
139	F	26	非線形超音波の利用
140	F	26	空中超音波
141	F	26	閉じたき裂の検出限界についての研究
142	F	26	超音波伝搬の可視化技術
143	A	27	無登録者での認識率向上
144	A	27	個人認証への応用
145	D	27	(音楽生理)ストレス
146	D	27	(音楽生理)癌免疫
147	A	28	音声認識と言語変換
148	C	28	4000Hz以上の音の聴覚障害に関する研究
149	C	28	声の老化に関する研究
150	C	28	胎児の音認知について
151	C	28	頭声発声の共鳴部位について
152	D	28	脳波、脈波による音楽の生体に及ぼす心理調査
153	D	28	音楽療法に関する基礎的研究
154	E	28	音色の評価について
155	E	28	音声共鳴の測定法
156	G	28	胎教ベルトの市販化について
157	F	29	水中微粒子や微生物の移送、凝集
158	F	29	レーザによる固体・液体・気体破壊時の超音波発生(レーザブレイクダウン)
159	F	29	超音波を用いた微生物の運動能力評価
160	A	30	高齢者など情報弱者を意識した音声処理システム
161	A	30	携帯電話/IP電話における音声圧縮における高齢者対策
162	A	30	実環境下における複数話者発話音声の分離抽出
163	C	30	聴覚における注意の役割のそのモデル化
164	C	30	(生体聴覚)他の感覚(視覚,体性感覚等)との連携とその相互作用
165	C	30	視覚や体性感覚との融合を視野にいれた聴覚機構のモデル化
166	E	30	適応マイクロホンアレイによる環境適応型集音装置
167	E	30	ブラインド処理を用いた混合信号の分離抽出
168	E	30	ユーマノイドロボット向け聴覚システムの実現(単に音声の認識だけでなく,環境把握も視野にいれた形で。)
169	E	30	自立動作可能なユーマノイドロボット向けの聴覚システムの構築
170	B	31	騒音の音源識別に関する研究
171	C	31	いびき音の分析
172	D	31	演奏者と聴衆のコミュニケーション
173	E	31	ホールにおける音声明瞭度の改善
174	G	31	音響教育とその手法・教材開発
175	G	31	音声による自動診断装置
176	B	32	放射音声の制御
177	C	32	人間以外の生物の発声音の(情報源)モデル化手法
178	D	32	音楽の楽器別音の分離・採譜
179	D	32	音楽の情報源圧縮
180	E	32	超指向性音響ディスプレイ(スピーカ)

181	E	32	音の閉空間への閉じ込め (サウンドバリア)
182	B	33	GISを用いた沿道騒音の予測評価システム
183	B	33	騒音低減を配慮した都市計画を行なうための騒音対策手法の提示 (提案)
184	B	33	沿道の自動車騒音分布の予測手法の確立
185	B	33	さまざまな騒音対策技術のLCCO2評価
186	E	33	ホール音場の総合的評価法
187	E	33	演奏内容に対応したコンサートホール音響設計法
188	E	33	リサイクル可能な吸音材料の開発
189	A	34	動植物コミュニケーション
190	B	34	音源探査
191	C	34	コミュニケーション
192	C	34	感性工学
193	D	34	(音楽)心地よさ
194	D	34	(音楽)評価方法の確立
195	D	34	(音楽)感性工学
196	E	34	(音響)癒し
197	G	34	同時翻訳
198	G	34	外国語
199	A	35	個人性情報のモデル化、精密な基本周波数抽出
200	A	35	モデル化したパラメータによる個人の声の合成
201	A	35	騒音環境下の認識、間投詞の不認識
202	A	35	500bps程度での高品質音声の伝送
203	A	36	認識と合成を統一的に扱うパラダイム
204	C	36	聴覚と認識の接点
205	E	36	オーディオ符号化の高能率化
206	F	37	(超音波素子)リクサー強誘電体の巨大圧電効果を利用したセンサ・トランスジューサ
207	F	37	マイクロ超音波モーター
208	F	37	顕微ブリルアン散乱法による弾性測定
209	B	38	騒音の新しい計測・同定・評価システム
210	C	38	聴覚 - 大脳機能
211	E	38	音楽演奏とホール音響の融合
212	E	38	(音響建築)音場の時間的・空間的ファクターの計測と評価
213	C	39	母国語の音声学的特性による音声知覚過程への影響
214	C	39	外国語学習過程における聴覚弁別能力と発音能力の推移について
215	F	40	超音波放射圧による生体内部の加振
216	F	40	医用超音波工学:超音波による心臓壁振動の計測と解析
217	A	41	外国語学習あるいは音声知覚に関するリハビリテーションを促進するような音声合成あるいは音声変調技術
218	F	41	騒音と同様、生体に及ぼす影響
219	B	42	道路橋から放射される低周波音の低減対策法の開発
220	B	42	交通騒音の発生源となる車両構造の改良
221	B	42	都市内高架橋の低周波振動と地盤内の低周波振動の伝播特性との関連の究明
222	E	42	ボルトの緩みやコンクリート構造物のひび割れの有無を打音検査により自動的にチェックできるシステムの開発
223	A	43	脳機能を模した音声圧縮アルゴリズム
224	B	43	不快音を快音と知覚する方法
225	C	43	(生体聴覚)超遅延信号処理によるリアルタイム解析
226	E	43	音響刺激の時間的統合

227	F	43	生物ソナー機構の解明
228	G	44	サウンドスケープの保全、創成について
229	G	44	警報音、報知音などの規格、とりきめについて
230	C	45	言語障害を持つ人の発音・音声分析
231	C	45	乳幼児の音声研究
232	B	46	空気圧機器から放出される騒音の低減化
233	A	47	障害者のための音声合成技術の応用
234	A	47	障害者のための音声認識技術の応用
235	C	47	老人性難聴
236	C	47	騒音性難聴
237	C	47	声と体
238	C	47	耳音響放射 (OAE)
239	D	47	音楽療法
240	E	47	補聴器等の音響機器の音質評価
241	G	47	補聴器の特性測定
242	G	47	音の風景 (auditory scene analysis)
243	G	47	音声の訓練装置の開発
244	F	48	キャピテーション、ルミネッセンスの解明
245	F	48	微小試料の弾性率測定、吸収測定法
246	F	48	イオン導電体の超音波物性
247	A	49	オンライン上でのID作成・個人識別
248	A	49	生物・リアル・親子判定
249	A	49	生物・発声・再現・ロボット
250	A	49	音声情報圧縮の可逆性
251	B	49	ホエールウォッチング船スクリー音の生体への影響
252	B	49	ダム建設騒音と希少猛禽類営巣状況
253	B	49	(騒音探査) バイオアッセイによる調査 特に海洋
254	B	49	積極的・逆位相・リアルタイム音響分析・消失
255	C	49	鳥類を使用した聴覚フィードバックの研究
256	C	49	複雑な歌 進化と言語の進化
257	D	49	(音楽生理) 生体指標 (ホルモンなど、脳波) を用いた調査
258	D	49	伝統楽器の音響解析とその保存伝承
259	D	49	(音楽演奏) 地理的変異
260	D	49	生物音楽の応用
261	E	49	(音響評価) 鳥類によるバイオアッセイ
262	E	49	ソナグラムのカテゴリー化・生物音について
263	E	49	ザトウクジラの複雑な歌の進化について
264	F	49	(超音波) 視覚障害者への応用
265	F	49	(超音波) バイオアッセイ
266	F	49	(超音波観察) 商用利用・小型化
267	F	49	地雷撤去作業への応用
268	G	49	大型鯨類の長期録音技術開発
269	F	50	三次元画像システムの小型化による超音波スコープの作成
270	F	50	超音波による金属化合物からのナノファイバー作成
271	F	50	分子量制御型の超音波重合法
272	F	50	高効率超音波分解法の確立
273	A	51	自然な調音結合を実現するための実体声道モデルによる音声合成
274	A	51	自然性を確保するための音声サンプルのスプライシング技術

275	A	51	分脈依存型音声認識
276	A	51	無喉頭者のための音声合成
277	A	51	音声認識装置を利用した発話困難者のための母国語発話訓練
278	A	51	(音声圧縮)ロス無し圧縮
279	A	51	音声認識装置を利用した外国語発話訓練
280	B	51	難聴者が無自覚的に発する生活騒音の調査と対策
281	C	51	難聴
282	C	51	耳鳴
283	C	51	中枢性の聴覚・言語障害の治療と脳の可塑性
284	C	51	吃音
285	C	51	痙攣性発声障害の成因と治療
286	C	51	音痴の原因と治療
287	C	51	無侵襲脳機能計測による人の聴覚反応
288	C	51	発声制御の脳機構
289	C	51	霊長類の聴覚中枢神経活動の無麻酔下の記録研究
290	C	51	(生体聴覚)再生医療
291	C	51	人工内耳
292	C	51	発声のパラメトリック分析
293	C	51	聴覚フィードバックによる音声の伝達関数
294	C	51	transformed auditory feedback
295	C	51	声帯発音モデル
296	D	51	音楽聴取・認知の脳内機構
297	E	51	ナノテクノロジーによる大規模アレーマイクロホンとその利用技術
298	F	51	超音波センサーを多数用いてナビゲーション能力を高めたインテリジェント電動車椅子
299	F	51	超音波補聴器
300	F	51	超音波による固形癌の治療
301	F	51	超小型超音波モーター(ないしアクチュエータ),プラスチック超音波モーター(ないしアクチュエータ),それらの応用
302	G	51	補聴器
303	G	51	Streaming (auditory scene analysis)
304	D	52	マイクロアクチュエータ(MEMS など)を応用した新しい電子楽器の開発 持ち運びに便利、新しい音感機器の実現
305	F	52	(超音波観察)マイクロ・ガン温熱用の温度センサ(胃ガン、腸ガン用)
306	F	52	(超音波素子)疲労センサ(ウェアラブルで携帯機器に組み込み)働きすぎへの警告システム(体調をおしえてくれる生体警告システム)
307	F	52	(超音波素子)姿勢検出機能を有する加速度センサ
308	F	52	(超音波動力)燃料電池の液体燃料用ポンプ
309	F	52	(超音波動力)電磁ノイズのない圧電マイクロアクチュエータ、LSI 製造用アクチュエータ(ナノメートル単位)
310	F	52	(超音波観察)(松枯れなど)立木の枯れ早期検出システム(水分の動きの音響検出)
311	F	52	(超音波)高老用おもちゃ(体の動きを伴うもの、子供用おもちゃとはことなるもの)
312	G	52	無形文化財(伝統芸の舞、スポーツの動作、姿勢など)の有形保存とそれを教え込む事のできる可能なデバイスを含むシステム(生体刺激デバイス)
313	G	52	空気抵抗を低減 表面加工を施した自動車
314	G	52	自動車タイヤ空気圧センサ
315	G	52	無音での口の動きによるパソコン入力装置
316	E	53	熱音響現象は熱と音のからみ合った現象であり非常に多彩である。特に音波がエネルギー変換を実行する可動部のない熱機関として将来が期待されるテーマである。
317	B	54	人体や動物に及ぼす低周波音の影響

318	B	54	風力発電用プロペラから発生する空力騒音の低減手法
319	E	54	(音響解析)大規模な音響数値シミュレーション手法の開発
320	D	55	CD と生演奏による生理学的反応の違い
321	D	55	ストレス時に効果的な音楽とその効果の研究
322	D	55	音楽が及ぼす生理学的反応 CT, MRI 上の変化、生理的反応を引き起こす音楽の周波数解析
323	D	55	病院環境としての音楽のあり方に関する研究
324	A	56	感情と声の関係の解明
325	E	56	地下水の調査
326	E	56	地下水の汚染計測、地雷探査、地中熱利用のための安価な地下計測
327	E	56	独立成分解析の高機能化
328	E	56	マイクロセンサを使った音場の計測技術
329	E	56	弾性波の 3次元振動の解析法
330	F	56	(超音波素子)環境音計測のための使い捨て可能なマイクロセンサ
331	F	56	建築構造物(道路、斜面等)のメンテナンスのための非破壊検査
332	F	56	超音波診断装置の高精度化、3次元映像化
333	A	57	音声認識とセキュリティ
334	A	57	音声認識による機械装置のインテリジェント化
335	B	57	機械騒音と聴感
336	B	57	騒音が人体におよぼす影響(悪い影響のみならず良い影響も)
337	B	57	機械騒音を考慮した機械設計(インバースデザイン)
338	B	57	低騒音化のためのインテリジェントマテリアル
339	D	57	音楽療法(主として医学的な観点)
340	E	57	音響を考慮した一般住宅設計
341	G	57	音楽の変遷とその時代の食・住文化
342	B	58	学校の教室内の騒音が及ぼす補聴器 or人工内耳装用児への影響
343	B	58	学校の教室内の騒音が及ぼす ADHD 児や自閉症児など聴覚過敏をもつ児への影響
344	C	58	乳児の音声・音響刺激の知覚発達及び発声の発達
345	D	58	乳児や胎児に及ぼす音楽の効果
346	D	58	発達障害児や痴呆者に及ぼす音楽の効果
347	A	59	音声のウェーブレット変換による非定常的音場の分析
348	B	59	音源の特定
349	B	59	数値シミュレーションによる音源の特定および音場の可視化、流れと音との相互作用の解明
350	B	59	アクティブコントロールによる騒音制御
351	B	59	空気力学的アプローチによる音源からの音放射の抑制
352	D	60	和音打楽器(打楽器などの体鳴楽器の上音は基音と整数比にならないが、特殊な形状にすることにより、1個でも和音を出す楽器を作る可能性がある)
353	D	60	マレットなどによるピアノ演奏の拡張
354	E	60	音を利用したコイン識別法
355	G	60	話速変換による英会話学習
356	C	61	蝸牛外有毛細胞の機械・電気変換過程にみられる能動性とその周波数選択性先鋭化メカニズムの解明
357	C	61	耳音響放射(Kemp echo)蝸牛基底膜振動のメカニズムの解明
358	G	61	音楽・音響信号の著作権保護と不正コピー・2次配布防止のための電子透かし法・暗号化等のセキュリティ技術の開発
359	B	62	高速音源探査
360	B	62	アクティブ吸音材料
361	B	62	リアルタイム音場可視化
362	C	62	(生体聴覚)脳機能の解明
363	E	62	地雷探査技術

364	F	62	マイクロ・ナノの世界での超音波応用
365	F	62	ウェアラブルな超音波診断装置
366	F	62	超高周波超音波技術
367	A	63	発話者の感性・感情を考慮した柔軟な音声合成処理
368	A	63	ロボット搭載などを想定した実用的な話者特定技術
369	A	63	実環境におけるロバスト性の向上 ワードスポッティング技術の向上
370	C	63	(生体発声)発生信号解析における非線形複雑系のアプローチ
371	C	63	発声の特徴から疲労度・健康度等を推定する技術
372	D	63	(音楽生理)ハイパーソニック等可聴範囲外の音響成分が生体にもたらす効用の生理学的調査
373	D	63	サウンド・音楽が人間の生理的・精神的安定に対して働きかける要素の抽出, また, その応用
374	D	63	波サウンド・癒し系音楽が傾聴者に及ぼす快要因の解明
375	D	63	自然音を持つ癒し特徴を応用したサウンド生成
376	A	64	音声を高速に認識し、周辺の介護機器などのサーボ装置を制御する技術 (= 特に装着タイプの機材で使用負荷を最小限にする)
377	B	64	騒音センサ群と高精度GPSと組み合わせ、瞬時に騒音強度分布の移動を計測し、騒音の時間的な成長を調べ、騒音原因を検知する
378	C	64	微小な細胞レベルでの音響信号の解明、特に生体活動によって発生する微小な音響エネルギーを検知し、新陳代謝のメカニズムを解明する
379	F	64	携帯/着装型の超音波式測距計測認識システム (障害者/高齢者用により軽量可搬性の高い機器)
380	F	64	マイクロマシンへの超音波動力伝達システム (体内でのマイクロマシンの派遣を実現するために超音波により、観察とマイクロマニピュレータの制御が同時に実施できる)
381	A	65	音声情報の脳内表現
382	A	65	音声知覚の脳内機序
383	C	65	失語症はなぜ起こるのか?
384	C	65	錯聴はなぜ生じるのか?
385	D	65	音楽情報はいかにして脳内に表現されているのか?
386	F	65	超音波顕微鏡を使った細胞の研究、発生学への応用、脳神経科学への応用
387	A	66	生物細胞や自然界 (自然環境物質) が発信する微弱な音波や超音波音声を分析する技術
388	A	66	生物細胞や自然界 (自然環境物質) が発信する超音波音声を変調して可聴音声にする技術
389	A	66	生物細胞や自然界が発信する音声を (生物細胞を通じて) 認識する技術
390	B	66	生物細胞や自然界が発信する微弱な超低周音波、可聴音波、超音波騒音の生体に及ぼす影響の計測
391	C	66	生物細胞が発信する超低周、可聴、超音波音響の計測と発信の機構
392	C	66	聴覚細胞以外の一般の生物細胞の聴覚、即ち超低周、可聴、超音波音響の感受機構
393	C	66	生物細胞単位の音響発信、同調の機構
394	D	66	音楽が聴覚細胞以外の細胞を経由して生体に及ぼす心理的作用
395	D	66	音楽が聴覚細胞以外の細胞を経由して生体に及ぼす生理的作用
396	E	66	可聴周波数域以外の微弱な音響の評価一般
397	E	66	可聴周波数域以外の微弱な音響の知覚一般
398	E	66	可聴周波数域以外の微弱な音響の解析一般
399	E	66	電磁波等によって励起・発信される自然界一般の音響
400	F	66	超音波を生体反応に転換・利用する技術
401	A	67	脳性マヒ等で音声不明瞭である場合の、音声解読とそれの自操作機器への応用
402	A	67	音声認識技術の福祉への応用
403	C	67	音周波数知覚や音源定位等に関する聴覚系中枢の生理
404	E	67	視覚障害あるいは視覚機能が使えなくなった環境での音源位置の定位問題
405	A	68	聴覚による話者を識別する能力の把握とその限界
406	A	68	個人性を再現する分析合成

407	C	69	難聴遺伝子の解明
408	C	69	ヒトの音声認識メカニズムの解明
409	C	69	人工内耳聴覚
410	A	70	自然性の高い合成技術、種々の感情付加技術
411	A	70	不特定話者の音声認識、自由会話音声の実時間認識
412	A	70	個人性を保存する圧縮技術
413	A	70	動物の鳴き声とその意味
414	A	70	極 - 零形の高速、高精度音声周波数分析
415	B	70	集合住宅環境の騒音制御
416	C	70	種々の音と人間の生理・心理との関係
417	C	70	音声生成の高精度観測
418	D	70	音の種類と"快"・"不快"との生理的關係
419	G	70	通訳を介さない自動翻訳技術
420	C	71	生体の音声情報の分析
421	D	71	音楽の生体への影響の分子レベルの解明
422	D	71	音楽の生体への影響 脳に及ぼす影響
423	F	71	ウルトラソノグラフィック生体工学